

【修了生からひとこと】

保坂 幸輝 さん

タイ、スラナリー工科大学

研修期間:2012年9月11日～10月8日



私は、国際インターンシップとして、9月11日～10月8日の間、タイのナコーン・ラーチャシーマにある、スラナリー工科大学と SanguanWongseIndustries(SWI)という企業の元へ行って来ました。私がこのインターンシップに参加した理由は、海外の人々と日本語以外でコミュニケーションし、交流の輪を広げたかったことと、日系企業が数多く参入してきているタイで、近年のビジネスのグローバル化を実感したかったからです。一度も海外に行ったことが無い私としては、このプログラムに参加する事はとてもハードルの高いものでした。英語も得意ではなく、本当に1ヶ月間生きていけるのか！？と、出発前は不安で仕方がなかったのを覚えています。しかし、そんな不安も実際にタイに着いてみればすぐに無くなりました。みんな驚くほど親切で、フレンドリーだったからです。企業の方々には、日用品の買い出しや、交通機関の乗り方まで教えていただき、最終的には一人で生活できるレベルまで馴染む事ができました。タイでは、出発前に国際交流センターで、タイの留学生に教わった簡単なタイ語と、頂いた便利なタイ語ブックが非常に役に立ちました。ナコーン・ラーチャシーマが多少田舎だった為か、企業の外に出ると、英語が通じた試しがなかったので、タイ語ブックはいつも持ち歩いていました。研修内容としては、企業のビジネスプロセスを説明していただいたり、その中の、顧客管理をする部分をプログラミング研修したりしました。他にも工場見学や、文化見学にも連れていってもらいました。業務後や、昼食時には、少し遠出して様々なタイ料理を紹介して頂いたりし、本当にたくさんのことを経験しました。とても刺激的だったのは、タイのナイトマーケットです。ナコーン・ラーチャシーマでは数カ所所でナイトマーケットが開かれており、場所により、装飾品か食べ物どちらに充填が置かれたマーケットなのか異なりました。どの場所も毎日

がお祭りのようで、そこに行くことが毎日楽しみでした。また、バイクタクシーや、トゥクトゥク、バスなど、タイ独特の様々な乗り物に乗りました。吹き抜けで囲いが無いトゥクトゥクが、運転スピードも早く、一番怖かったです。この研修を通して、様々な人に助けられ、経験し、人とのコミュニケーションに大切なことは何かということ学びました。海外で1ヶ月1人で生活したことにより、度胸もつきました。また、ビジネスのグローバル化というのを実感し、私もグローバルな仕事をしたいと思うようになりました。海外インターンシップに興味のある学生達は、この経験はこの先必ず役に立つと思うので、とにかく挑戦してみると良いと思います。